

北海道の木の内インテリア



アンティーク仕上げのトドマツ材でコーディネート

木は環境にやさしい循環型資源の代表である。だから木をたくさん使った家造ろう。木で出来ることは木で造る。いたってシンプルな発想だ。もちろん近くの山、北海道産の木を使って家のインテリアをデザインするのだ。

北海道らしい家ってどんなだろう？ ずいぶん前から言われているが、これといった決め手が無い。きつと道内で建築にかかわる人達の永遠のテーマなのかもしれない。最近では断熱と気密性能の優れた冬暖かな家が北海道ならではの家ともいわれているが、なんだかピンとこないよね。

僕はやはり、日本の木組みの家の良さを残したいと思う。別に古民家みたいな家を新築することも無



古色仕上げでぐっと落ちついた雰囲気の内インテリアになる

いと思うけれど、無垢の木を集めて太い大黒柱を大胆に使う。当然梁も太くなる。デザインによって和風にも洋風にも変化するように、どこか懐かしさの心がホッとすると、木組みでシンプルな空間をつくりたいと思っている。

北海道の木や土などの自然素材を使う。魚の好みじゃないけど、赤身の多いスギを多用する本州の人

が、白身のトドマツで組んだ木組みの家を見ると、北海道独特の雰囲気を感じるらしいよ。

それにしても最近では、接着剤で形成した木材の柱や梁で建てる家が増えていて、家に使われる化学物質、接着剤の総量もうなぎのぼりだ。だからこそ僕は、逆に無垢の木へのこだわりが年々強くなる。

50年後の家が、ただのゴミになる



梁を現しながらもシンプルにまとめた和室

が貴重な木組みの家として生き残るか。後者は、少なくとも再生資源として役に立ってくれることだろう。今100%無垢の木だけにこだわった家が建てられるの？と聞かれたら、答えはもちろんYES！

室内に梁や柱を見せるにしろ、見せないにしろ、構造材で使える樹種は限られてくる。北海道の針葉樹ならばエゾマツ、トドマツ、カラマツ、スギくらいのも。そうそう針葉樹は葉が針のようにとがった木で、まっすぐに伸びている木だよ。意外と知らない人が多いんだよね。で、広葉樹は葉っぱの広い木さ。広葉樹といえばナラ、タモ、クリカバ、センイタヤなどが一般的だけど、接着剤で張りぼての材料でもない限り、大黒柱や床柱にするのが精一杯。木が曲がっていて、枝を横に

北海道の木の家 ②



地域の材にこだわった道南スギの床と天井板の空間



明るいナチュラルカラーでまとめた木使いの空間

懐かしさを感じる
囲炉裏のある土間玄関ホール

えこすた とは

エコロジー、エコノミー、スタンダード、ライフスタイルなどを合わせて僕たちがつくった造語です。

健康な住まいは安全な食品と変わらないというコンセプトのもと、エコハウスづくりのための自然建材を扱うエコショップの店名にもなっているのです。

エコデザイナー 西條 正幸

1960年伊達市生まれ。札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「ビオプラス西條デザイン」代表取締役。自然派生活提案「えこすた」店主。

「自然素材デザイナー西條正幸のブログ」もヨロシク!

菜園でつながる、暮らしの輪。



北海道の木の家 + 畑のある暮らし。

菜園生活プロジェクト

Bio+ 有限会社
SAIJO DESIGN ビオプラス西條デザイン

www.saijo-d.com

Natural Lifestyle

え こ す た

北海道の木のインテリア



オープンキッチンのスクリーンを兼ねた木のブックスタンド



木のロフトベッドを作りつけたチャイルドルーム

広げてるでしょ。だから長い構造用の材料は取れないのだ。
でもね、僕はクリを土台に使ってるんだけど、これは短い材をつないで使えるからなのさ。クリは重たくて、硬くて、まるで鉄のよう。土台として防虫・防腐処理をせずに使える貴重な材なんだ。
インテリアとして針葉樹の梁や柱を現し、広葉樹のフローリングや家具、建具に使用するのはバランスからいっても良いと思う。家と一緒に、キッチンや家具や建具なども道産木材でつくると更に良いね。
北海道らしく無垢の木組みで家を建てる。エゾマツ、トドマツを構造材に、スギやカラマツは床板や外装材に使うのが、今の僕のパターンになっている。広葉樹のしつかりし

た床フロアーも良いが、トドマツやスギなどの空気をたくさん含んだ針葉樹の温かな質感の木は北海道の冬でも気持ちが良いのだ。
木のインテリアだからといって、やたら木ばかり使うのもどうかと思うでしょ。何事もほどほど、時には息抜きしなければ疲れてしまう。漆喰や土壁、和紙や織物の壁紙、素焼きのタイルやレンガなどの自然素材と組み合わせることで、木の良さや美しさがハーモニックに響いてくる。五感で感じる木の香り、柔らかな色彩と反射、音の反響と吸収、温かな感触と気持ち良さ。ついでに無理やり…食べても安全！そして第6感的に、魂で感じる気持ち良さや懐かしさがあると思う。

地球のこと、いきもののこと、大切に思っているひとに届けたい。

菜園 NOTE

こんな手帳があつたらいいのに…。という想いから生まれた「菜園NOTE」には、スケジュール帳はもちろん日記帳や菜園計画表など、菜園生活に便利な機能や情報がもりだくさんです！

菜園NOTEについて、詳しくは [菜園生活.com](http://www.saijo-d.com) にアクセス！



A6(文庫版)136ページ
定価 1,050円(本体1,000円)

Bio+
有限会社
SAIJO DESIGN
ビオプラス西條デザイン

有限会社 ビオプラス西條デザイン

本社：〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店：〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139

えこすた会員募集中！
会員になるとエコ情報季刊誌
「えこすた通信」をお届けします。

菜園生活プロジェクトは
www.saijo-d.com

09
資料請求